

科目名	ファッションビジネス理論と演習	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により習得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。また、ファッション商品知識をレポートやプリントにより学ぶ。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ファッションビジネスの概要Ⅰ	31	ファッションマーチャンダイジングⅠ
2	自己PR	32	ファッションテーマⅠ
3	ファッションビジネスの概要Ⅱ	33	ファッションマーチャンダイジングⅡ
4	ファッションイメージⅠ	34	ファッションテーマⅡ
5	ファッションビジネスの概要Ⅲ	35	ファッションマーチャンダイジングⅢ
6	ファッションイメージⅡ	36	ファッションテーマⅢ
7	ファッションビジネスの概要Ⅳ	37	ファッションマーチャンダイジングⅣ
8	ファッションイメージⅢ	38	ファッションテーマⅣ
9	ファッション生活・ファッション消費Ⅰ	39	ファッション流通Ⅰ
10	ファッションイメージⅣ	40	グループディスカッション
11	ファッション生活・ファッション消費Ⅱ	41	ファッション流通Ⅱ
12	グループ・ディスカッション	42	スタイル・ポジショニングマップⅠ
13	ファッション生活・ファッション消費Ⅲ	43	ファッション産業の職種概要Ⅰ
14	オケーション	44	スタイル・ポジショニングマップⅡ
15	ファッション産業構造Ⅰ	45	ファッション産業の職種概要Ⅱ
16	アイテム知識Ⅰ	46	プレゼンテーション
17	ファッション産業構造Ⅱ	47	計数の基礎知識Ⅰ
18	アイテム知識Ⅱ	48	市場調査分析Ⅰ
19	ファッション産業構造Ⅲ	49	計数の基礎知識Ⅱ
20	アイテム知識Ⅲ	50	市場調査分析Ⅱ
21	ファッションマーケティングⅠ	51	ファッション、デザイン、アパレルⅠ
22	アイテム知識Ⅳ	52	市場調査分析Ⅲ
23	ファッションマーケティングⅡ	53	ファッション、デザイン、アパレルⅡ
24	ビジネスディスカッション①-Ⅰ	54	ビジネスディスカッション②-Ⅰ
25	ファッションマーケティングⅢ	55	期末試験対策
26	ビジネスディスカッション①-Ⅱ	56	ビジネスディスカッション②-Ⅱ
27	期末試験	57	期末試験
28	プレゼン準備	58	プレゼン準備
29	プレゼンテーション	59	プレゼンテーション
30	前期振り返り	60	後期振り返り

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

教科書：濱田勝宏『ファッションビジネス3級新版』一般財団法人日本ファッション教育振興協会

【教材・教具】

科目名	ファッションマーケティング&プランニングⅠ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

■前期目標：各自がブランドを決めてショップリサーチを行い、「売れている理由」と「さらに売れるためのアクションを提案」をプレゼンテーション出来るレベルを目指す。■後期目標：「新しいマーケットを発掘」して、前期のショップリサーチしたブランドから「売れるアパレルの新ブランドを提案」しプレゼンテーション出来るレベルを目指す。

【科目の概要】

1年生では、マーケティングの知識を学び、どのようにすれば、売上アップにつながるのか？を学びます。これだけでは知っておいて欲しいファッションビジネスの基礎知識を学び、同時に自分の考えていることを頭で整理し、プレゼンテーションにて、伝える力をつけます。

【授業計画】

前期 90分/コマ			後期
1	アパレルメーカーの業務フロー	16	ブランド説明・SWOT分析
2	店舗の広さとSKU	17	新ブランドの考え方
3	業種・業態・SPA	18	アパレル業界の課題と成長ポイント
4	コンセプト □ フェイス □、生産国	19	ポジショニングマップ
5	VMDと売上分解	20	アパレル業界で客単価アップのターゲット
6	4P・差別化	21	五感を刺激し売上アップ
7	コト消費・アイデア出し・差別化	22	イメージアップ・ターゲットを □ 絞る
8	ライフサイクル・4P・トレンドキーワード □□	23	オークションと社会貢献
9	顧客の囲い込み	24	表現方法・高付加価値
10	DX・オムニチャネル	25	Z世代とα世代の違い・還暦世代マーケット
11	変えてはいけないこと・SNSと出店戦略	26	差別化の強調による高付加価値
12	コトラー・ドラッガー・ビジネス形態	27	ヒット商品誕生の法則
13	プレゼン	28	プレゼン
14	プレゼン	29	プレゼン
15	フィードバック	30	フィードバック

【成績評価方法】

プレゼンテスト30%、提供課題60%、授業態度10%

【教科書・参考書】

1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。サンクス先生のファッションビジネスの授業（WEBテキスト）・これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書（電子書籍）など

【教材・教具】

プリントを配布。パソコン・Google クラスルーム、スライド。

科目名	服飾実習 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10% 実習 90 %
時間数	180	作成者	上田久美子
【科目の到達目標】 レディスウェアの基本アイテムから構造や製作工程を理解することができ、理論を技術に結びつけられる。			
【科目の概要】 ファッション業界は洋服の知識を持った人材を必要としている。 本科目では、製図から縫製までを一貫して製作することにより、服作りの工程・素材・構造等を学ぶ。			
【授業計画】			
90分/コマ	前期	後期	
1,2,3	授業説明・縫製用具の理解	46,47,48	パンツの概論・バリエーション
4,5,6	ミシン・アイロンの使い方・基礎縫い準備 基礎縫い	49,50,51	パンツの製図・トワール組・縫い代つけ (各自サイズの製図)
7,8,9	基礎縫い・採寸	52,53,54	パンツの製作
10,11,12	スカートの概論・バリエーション	55,56,57	パンツの製作
13,14,15	スカートの製図・トワール組・縫い代つけ (各自サイズの製図)	58,59,60	パンツの製作
16,17,18	スカートの製作	61,62,63	パンツの製作
19,20,21	スカートの製作	64,65,66	パンツの製作
22,23,24	スカートの製作	67,68,69	パンツの製作
25,26,27	身頃ダーツ操作・襟・袖のバリエーション	70,71,72	ワンピースの製図 ・縫い代つけ
28,29,30	台襟付長袖シャツの製図・縫い代つけ・トワール組	73,74,75	ワンピースの製作
31,32,33	台襟付長袖シャツの製作	76,77,78	ワンピースの製作
34,35,36	台襟付長袖シャツの製作	79,80,81	ワンピースの製作
37,38,39	台襟付長袖シャツの製作	82,83,84	ワンピースの製作
40,41,42	台襟付長袖シャツの製作	85,86,87	ワンピースの製作
43,44,45	台襟付長袖シャツの製作・まとめ・テスト	88,89,90	ワンピースの製作・まとめ・テスト
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ワンピース』・『パンツ』上田安子服飾専門学校 最新版			
【教材・教具】 ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式			

科目名	ファッションデザイン論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	小西祐司

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ファッションデザイン概論 ファッションデザインのもと1 エレガントとスポーティ(1)	16	ジャケットのデザイン1 メンズジャケットの変遷
2	ファッションデザインのもと1 エレガントとスポーティ(2)	17	ジャケットのデザイン2 ジャケットの歴史
3	ファッションデザインのもと2 モダンとフォークロア(1)	18	ジャケットのデザイン3 ジャケットのイラストをかく
4	ファッションデザインのもと2 モダンとフォークロア(2)	19	ジャケットのデザイン4 ジャケットのデザイン画をかく
5	スカートのデザイン1 スカートの種類	20	コートのデザイン コートの種類
6	スカートのデザイン2 スカートのイラストをかく	21	ジャンパーのデザイン1 ジャンパーの種類(ベーシック)
7	スカートのデザイン3 スカートのデザイン画をかく	22	ジャンパーのデザイン2 ジャンパーの種類(ワーク・ミリタリー)
8	シャツ・ブラウスのデザイン1 襟の種類	23	ジャンパーのデザイン3 ジャンパーのデザイン画をかく
9	シャツ・ブラウスのデザイン2 袖の種類	24	ジャンパーのデザイン4 ジャンパーのデザイン画をかく
10	シャツ・ブラウスのデザイン3 ディテールのスケッチ	25	フットウェアのデザイン1 ベーシック
11	シャツ・ブラウスのデザイン4 デザイン画をかく	26	フットウェアのデザイン2 スニーカー
12	パンツのデザイン1 パンツの種類	27	フットウェアのデザイン2 Dr.マーチンとユースカルチャー
13	パンツのデザイン2 デニム1	28	アクセサリー 帽子のデザイン
14	パンツのデザイン2 デニム2	29	オリジナルデザイン1
15	パンツのデザイン3 パンツのイラストをかく	30	オリジナルデザイン2

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	ファッションドローイング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	立嶋滋樹

【科目の到達目標】

デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。

【科目の概要】

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、
絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	16	デザイン画選手権 制作②
2	右脳で描く(記号的認識の排除)	17	生地・素材の表現① (デニム素材)
3	人物クロッキー・線の種類(多様な線)	18	生地・素材の表現②
4	比率・プロポーションアナライズ・直立ポーズ	19	生地・素材の表現③
5	比率・プロポーションアナライズ・片足ポーズ	20	パーツ・金属の表現①
6	人物クロッキー・骨格と重心	21	柄を描く
7	ヌードボディの着色	22	メンズデザイン
8	ヌードボディへの着装①	23	オリジナルデザイン画
9	ヌードボディへの着装②	24	デザイン画によるコミュニケーション「ブック」
10	服のディテール(ドレープ・プリーツ・ギャザー)	25	「ブック」製作 マケット制作の意味
11	顔のプロポーションとディテール	26	「ブック」製作 スケジュール管理について
12	身体の詳細(手・足・脚等)①	27	「ブック」製作 材料の選択について
13	身体の詳細(手・足・脚等)②	28	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半
14	デザイン画選手権準備・情報の集め方	29	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半
15	デザイン画選手権 制作①	30	学期末テスト
学期末テスト			

【成績評価方法】

授業内での提出物(半期5～7点)の評価と、学期末テストの合計

【教科書・参考書】

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

【教材・教具】

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類
ファッション雑誌など

科目名	コンピュータ演習Ⅰ－A	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	太田 景子

【科目の到達目標】

- ・プロデュース業務に必要なオフィス系ソフトウェアで文書や表、プレゼンテーション等の基本的なデータ作成ができる
- ・基礎的なPhotoshopの使い方を習得する

【科目の概要】

パソコンの基本操作を理解し、Word、Excel、PowerPointの操作とデータ作成技術を習得する
Googleドライブとアプリケーション(ドキュメント、スプレッドシート、スライド)およびスマホとの連携などを習得する
初歩的な画像編集や合成の方法を習得する

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ガイダンス、PCスキルチェック	16	* PowerPoint 書類作成 ・プレゼンテーションの作成と管理
2	PC基本操作	17	・テキスト、図形、画像の挿入と書式設
3	* パソコン用語とインターネット	18	・表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入
4	* セキュリティとパスワード	19	・画面切り替えやアニメーションの適用
5	* メール / ドライブ / クラウド	20	模擬プレゼンテーション
6	* 基本操作とデータの保存場所	21	Photoshopの操作
7	・右クリック、ドラッグ & ドロップ・Tabキー、ページ内検索	22	・データ形式の違い(ラスタ形式、ベクタ形式)
8	・すべて選択、複数選択、範囲選択・ファイルやフォルダのコピーと移動	23	・Photoshopでできること
9	・ショートカットアイコンの作成・シングルクリックとダブルクリック	24	・画像の補正に関して
10	・キーボードのホームポジション ・タッチタイピング	25	(調整レイヤーを使用した画像編集のメリットデメリット)
11	・ファンクションキー、FNキーの使い方	26	・選択範囲の作成
12	・NumLockキー、CapsLockキー	27	(矩形選択ツール、なげわツール、ペンツール、自動選択ツ
13	Word、Excel、PowerPointの操作	28	・レイヤーマスク
14	* Word 書類作成(文書の作成と管理)	29	(マスクの概念、マスクを使用した背景処理)
15	・文書を作成(新規文書/テンプレート/外部データ挿入)	30	・髪の毛などの切りぬき
16	・文書内を移動(検索・ハイパーリンク・ブックマーク)		(選択とマスク機能の習得)
17	・文書の書式を設定(ページ設定/テーマ/スタイル/他)		・簡単な合成
18	・文字、段落、セクションの書式設定		(手にものを持たせる、写真に物を追加する)
19	* Excel 書類作成		・人物の補正
20	・ワークシートやブックの作成と管理		(コピースタンプツール、ゆがみフィルター)
21	・セルやセル範囲のデータの管理		・レイヤースタイル
22	・数式や関数を使用した演算の実行		(オリジナルロゴの作成)
23	・グラフやオブジェクトの作成		・パターン機能
24			(オリジナルパターンの作成)
25	テスト		テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピューター演習Ⅰ－B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュースコース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース学科		昼間
学年	1年	授業形態	講義 40% 実習 60 %
時間数	60	作成者	山本 樹里

【科目の到達目標】

インターネットの正しい使い方を認識し、使うこなすことができる。

Adobe illustratorの基本操作法を学び、簡単なデザインワークができる。

プロデュース業務に必要なオフィス系ソフトウェアで文章や表など基本的なデータが作成できるようになる。

【科目の概要】

パソコンの基本操作の理解 / Adobe illustrator 基本操作法 / Googleアプリケーションの使い方
ビジネスメール マナー / Office系ソフトの基本操作方法 / ホームページ作成

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス/リテラシーテスト	16	Word基礎 ①
2	Google 基本設定 / メール / ドライブ	17	Word基礎 ②
3	Illustrator 基礎①	18	Word基礎 ③
4	Illustrator 基礎②	19	Wordまとめ
5	Illustrator 基礎③	20	Excel基礎 ①
6	ペンツール演習①	21	Excel基礎 ②
7	ペンツール演習②	22	Excel基礎 ③
8	デザインワークⅠ－①	23	Excelまとめ
9	デザインワークⅠ－②	24	ホームページ作成①
10	デザインワークⅠ－③	25	ホームページ作成②
11	デザインワークⅡ－①	26	ホームページ作成③
12	デザインワークⅡ－②	27	Googleアプリケーション①
13	デザインワークⅡ－③	28	Googleアプリケーション②
14	テスト模擬	29	テスト模擬
15	テスト	30	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

特になし

【教材・教具】

筆記用具

科目名	プロダクトベーシック	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

デザイン活動には、大別して4大要素がある。「カラー」「マテリアル」「フォルム」「コンセプト」
ファッションデザインに関わる上で、必要不可欠な基礎知識、基礎技術の習得を目指し、色彩検定3級相当の学習を圧縮して理解する事を目標とする。

【科目の概要】

デザイン制作の基礎知識としての、「色彩」=カラーリングと、「立体」=フォルムの用語や分類法を習得する。
色彩分野では、色の属性分類、配色のバリエーションから、視覚的效果、心理的效果等に及ぶ。
立体分野では、基本的な造作の方法論、立体の分類、バリエーションの展開を実践する。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- | | | |
|----|----|----------------------------------|
| 1 | 色彩 | 「色彩とは」 道具類の説明 3原色で初めての色だし |
| 2 | 色彩 | オリジナルカラーカード制作 色の分類 |
| 3 | 色彩 | 配色(色彩計画) 2色・3色配色 補色 |
| 4 | 色彩 | 色の三属性とトーン概念 |
| 5 | 色彩 | 2ポーズ配色のスタイル画(モノトーンのバリエーション)① |
| 6 | 色彩 | 2ポーズ配色のスタイル画(モノトーンのバリエーション)① |
| 7 | 色彩 | ファッションのイメージ配色①(ロマンチック・ソフト・フェミニン) |
| 8 | 色彩 | ファッションのイメージ配色①(ロマンチック・ソフト・フェミニン) |
| 9 | 立体 | 「立体とは」 レリーフ制作(山折り・谷折り 直線) |
| 10 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線) |
| 11 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線) |
| 12 | 立体 | 立体制作(山折り・谷折り 曲線) |
| 13 | 立体 | レリーフ制作(バリエーション展開) |
| 14 | 立体 | レリーフ制作(バリエーション展開) |
| 15 | | 期末試験(90分) |

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

デザインの色彩、適宜プリントを配布

【教材・教具】

教科書、PC、モニター、配布プリント、絵具類、スケッチブック、ファッション雑誌、スティックのり
B4ケント紙、カッターナイフ、カッター版、定規類、コンパス、カネダイン(接着剤)、メンディングテープ

科目名	服飾素材論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子
【科目の到達目標】 ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。			
【科目の概要】 多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。			
【授業計画】 90分/コマ		後期	
1	オリエンテーション ファッショントレンドと素材の関連性について		
2	素材とは？（繊維・糸・布地）		
3	生地の種類（織物・編物）について		
4	・繊維の種類について 天然繊維・化学繊維		
5	繊維の特性		
6	・天然繊維（１）・植物繊維―綿 代表的な綿織物		
7	・天然繊維（２）・植物繊維―麻 代表的な麻織物		
8	・天然繊維（３）・動物繊維―毛		
9	代表的な毛織物		
10	・天然繊維（４）・動物繊維―絹		
11	代表的な絹織物		
12	生地の加工・色・パターン（柄）について		
13	まとめ		
14	総復習（テスト傾向と対策）		
15	総合テスト		
【成績評価方法】 提出物（レポート）の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】 ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- 1 ガイダンス
【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
- 2 古代ローマ～ビザンチン時代
- 3 ルネサンスの始まり
- 4 バロック時代:エリザベス I 世
- 5 ロココ時代:マリーアントワネット:革命と失脚
- 6 ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容
- 7 復習・小テスト
- 8 オートクチュールの始まり
ウォルト・ポールボワレ・シャネル
- 9 19～20世紀
フランス:オートクチュールからプレタポルテ
- 10 19～20世紀
イタリア:GUCCIとハイブランドの変遷
- 11 19～20世紀
ロンドン:パンクムーブメント
- 12 19～20世紀
アメリカ:ストリートとカウンターカルチャー
- 13 20世紀
日本国内のトレンド:DCブランド～KAWAIIカルチャー
- 14 まとめ・復習
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題60%、期末試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

教科書『西洋服飾史』 小松松茂著

【教材・教具】

プリント・スライド

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	30	作成者	衣笠節子

【科目の到達目標】

- ・社会人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養い、ワンランク上の人材を目指す。
- ・企業が求めている基本的なマナーや、即戦力および人間力を身につけ就職活動に役立てる。

【科目の概要】

- ・ビジネス社会では、業務についての知識だけでなく礼儀やコミュニケーション能力が求められている。本科目では人前で話す訓練をし、思っていることを相手に伝える言葉の表現力を習得する。
- ・身体言語(表情・態度・挨拶・身だしなみ)と言葉づかいを実践的に学習する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 マナーの重要性 「関係づくりの第一歩」
- 2 社会人としての常識 「マナー度チェック」
- 3 第一印象をアップする 「身だしなみと立ち居振る舞い」
- 4 言葉づかいのマナー 「敬語の種類・対応の基本用語」
- 5 外部の方へのアプローチ 「電話対応のマナー」
- 6 グループワーク 「美点凝視」
- 7 ビジネス実務 「会社や組織における部署の種類や役割」
- 8 グループワーク 「グループディスカッション」
- 9 ビジネス実務 「名刺交換のマナー・応接室でのルール」
- 10 仕事の上で必要とされる表現技術 「1分間スピーチ」
- 11 ビジネス実務 「指示の受け方・報告の仕方」
- 12 グループワーク 「コンセンサス実習」
- 13 ビジネス実務 「社内文書・社外文書・ビジネスメール」
- 14 まとめ 「修業テスト」
- 15 グループワーク 「会話を広げるアプローチ話法」

【成績評価方法】

提出課題・スピーチの評価60%・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%
以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

田野直美『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】

随時 プリントを配布

科目名	英語 I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	平田 順

【科目の到達目標】

2年次のフィレンツェ研修に向けて、現地での授業で積極的にコミュニケーションを取るための英語を習得する。
挨拶・自己紹介ができる。日常的なフレーズを使った短文を使いこなせる

【科目の概要】

海外の人と臆することなく話せるように、会話練習を行う。
プレゼンテーションで、人前で自分の意見や想いを伝えることができるようにする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション	16	前期の復習
2	英文法基礎	17	自己紹介・他己紹介発表
3	英文法基礎	18	長文読解
4	自己紹介の練習	19	長文読解
5	他己紹介	20	長文読解に関する意見発表
6	Yes-No疑問文	21	英文法の復習
7	5W1H疑問文	22	英文法の復習
8	ディスカッション	23	グループ・ディスカッション
9	ディスカッション	24	グループ・ディスカッション
10	ペア・プレゼンテーション	25	ペア・プレゼンテーション
11	ペア・プレゼンテーション	26	ペア・プレゼンテーション
12	グループ・プレゼンテーション	27	グループ・プレゼンテーション
13	グループ・プレゼンテーション	28	グループ・プレゼンテーション
14	期末試験	29	期末試験
15	総まとめ	30	総まとめ

【成績評価方法】

提出物評価(授業内での英語での会話対応)60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	トレーニングタイム I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	授業開講時期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70%
時間数	60	作成者	上田 久美子

【科目の到達目標】

各種イベントにおける発表作品の制作、見学、研修等の打合せ、データ作成、発表を行う。
また各科目の習熟度に沿った補助科目とする。

【科目概要】

ファッション・プロデュースコースの年間イベントの内容に沿って作品、データ等を作成する。

【授業計画】前期

後期

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 PCスタートアップ | 16 プレゼンについて |
| 2 プレゼンについて | 17 上安祭 準備 |
| 3 プレゼンについて | 18 上安祭 準備 |
| 4 製図 | 19 上田学園コレクション 準備 |
| 5 製図 | 20 上田学園コレクション 準備 |
| 6 プレタ展 準備 | 21 上田学園コレクション 準備 |
| 7 プレタ展 準備 | 22 実習パンツまとめ |
| 8 マケプラ資料作成 | 23 実習ワンピースパターン写し |
| 9 マケプラ資料作成 | 24 上田学園コレクション 準備 |
| 10 実習スカートまとめ | 25 上田学園コレクション 準備 |
| 11 実習シャツパターン写し | 26 上田学園コレクション 準備 |
| 12 上安祭 準備 | 27 次年度プレタポルテ展 準備 |
| 13 上安祭 準備 | 28 次年度イタリア研修について |
| 14 上安祭 準備 | 29 次年度イタリア研修について |
| 15 試験またはプレゼンテーション | 30 試験またはプレゼンテーション |

【成績評価方法】

・課題作品 60% ・授業態度10% ・テストまたはプレゼン30%

【教科書・参考書】

【指定用具・器具】

パソコン 筆記具など